（その 104）劇場型「詐欺事件」を　みじかな議員で撃退（2014.5）

４月中旬大島１丁目で一人暮らしのＨさんのところに「サントリーフーズの下請け会社の森野と言うものですが貴女は我が社の会員に登録されていますが証券に興味ありませんか」という電話がかかってきました。
Ｈさんは「自分は登録した覚えがないし興味がありませんからお断りします」と言ったら「解約するには一千万円払わなければなりません」と言われました。　次の日の朝「こちらはサントリーフーズの本社ですが昨日一千万円が振り込まれましたので会員登録が抹消されました。
つきましてはあすの午前 10 時にお宅を訪問しますので書類に印鑑だけ押して下さい」と言われました。
Ｈさんは「私の知っている市会議員がいます。電話をすればすぐに駆けつけてくれます」というと「そんな気軽には来てくれる議員はいませんよ」と笑ったので「それなら家に来てもらっておくので必ず来てください。そしてその議員に全て話してください」と約束したのでと宮原議員に電話が来ました。
翌日Ｈさん宅で一緒に待機していましたが１時間経っても２時間経っても誰も来ませんし電話もかかって来ませんでした。
Ｈさんは「咄嗟の判断で宮原さんの名前を言いましたが被害に遭わなくて本当に助かりました。ありがとうございました」と胸を撫で下ろし喜んでおられました。